

三田村緒佐武(2006)河川レンジャーアドバイザー
委員会・委員,国土交通省.

三田村緒佐武(2006)理数大好き推進協議会・委員,
文部科学省.

三田村緒佐武(2006)姉川・高時川河川環境ワーキ
ング・委員,国土交通省.

2) 学会貢献

伴修平(2006)日本陸水学会Limnology編集委員.

伴修平(2006)日本プランクトン学会和文誌編集委
員.

伏見碩二(2006)雪氷学会,理事.

浜端悦治(2006)日本景観生態学会専門幹事(生態).

肥田嘉文(2006)日本水環境学会関西支部幹事.

近雅博(2006)European Journal of Entomology,
Editorial Board.

近雅博(2006)日本鞘翅学会・編集委員.

國松孝男(2006)日本水環境学会近畿支部会理事.

國松孝男(2006)水資源・環境学会理事.

丸尾雅啓(2006)日本分析化学会近畿支部幹事.

丸尾雅啓(2006)日本陸水学会近畿支部会庶務幹事.

丸尾雅啓(2006)日本分析化学会第55年会実行委
員.

三田村緒佐武(2006)日本陸水学会,幹事長.

三田村緒佐武(2006)日本陸水学会,評議員.

3) 国際貢献・海外調査等

浜端悦治(2006)モンゴルでの湖沼調査,9月18日
~10月3日.

近雅博(2006)マルク諸島(テルナテおよびハルマ
ヘラ)調査,8月21日~9月2日.

三田村緒佐武,赤塚徹志,安積寿幸(2006)環境
負荷が環日本海汽水湖の生態系変動と地球温暖化
システムに及ぼす影響解析,大韓民国・江原道,
永郎湖,花津湖で共同観測,2006年10月15日~
10月22日.

9. マスメディアとの対応

1) TV、ラジオ番組への出演等

浦部美佐子(2006)「リアルタイム」リアル特集
「憤激ルポ・異常繁殖!カワヒバリガイに襲われ
た街」,日本テレビ,2006年4月24日.

環境計画学科 環境社会計画専攻

1. 受賞

吉田徹,石本貴之,井手慎司(2006)環境システム
計測制御研究発表会奨励賞,水質汚濁負荷量の汚
濁負荷原単位の算定と減少要因の特定に関する研
究-滋賀県の産業系汚濁負荷を対象として-.

鶴飼修(大成建設)(2006)選定,田園再生機構 持
続可能なコンパクト都市モデルの創造,既存共同
住宅団地の再生に関する提案募集(実施主体:財
団法人ベターリビング(国土交通省及び独立行政
法人都市再生機構の委託により実施)(協力)独立
行政法人建築研究所,マンション再生協議会,公
共住宅事業者等連絡協議会).

2. 著書

金田章裕・石川義孝編(2006)日本の地誌8 近畿
圏.秋山道雄, .3.6)「環境問題・自然保護」,
.5.1)「行政」,.5.3)「エネルギー供
給圏」,.5.4)「地域開発と環境」,.D.
2.3)「湖西・湖北」,朝倉書店,東京.

土屋正春・伊藤達也編(2006)水資源・環境研究の
現在.毛徳華・秋山道雄・焦春萌「洞庭湖区にお
ける洪水・浸水災害の変動特性」,成文堂,東京.

(財)環境科学総合研究所編(2006)みんなの環境シ
リーズ6「水と暮らす 遠い水,近い水」.井手慎
司,第1章「水を守る」,(財)環境科学総合研究所,
静岡県.

磯野弥生・除本理史編(2006)地域と環境政策 環
境再生と「持続可能な社会」をめざして.除本
理史・山内昌和・香川雄一,第7章「沿岸域の環
境再生に向けた市民の役割 神奈川県川崎市を事
例として」,勁草書房,東京.

鹿沼市史編さん委員会(2006)鹿沼市史 通史編
近現代.香川雄一,2部1章4節 4章7節 3
部2章4節・5節 5部1章1節 6部1章概
説・1節・2節 2章概説・1節 3章概説・1
節・2節・3節・4節 4章概説 付録「人口統
計」,鹿沼市,鹿沼市.

宮内泰介編(2006) commonsをささえるしくみ - レジ
ティマシーの環境社会学 -. 近藤隆二郎,3章「写
されたシナリオの正統性と更新」,新曜社,東京.

土屋正春・伊藤達也編(2006)水資源・環境研究の
現在.仁連孝昭,第1章「流域管理から流域ガバ
ナンスへ」,成文堂,東京.

3. 論文(学会誌およびそれに準じる学術、技術雑誌およびプロシーディングに掲載されているもの)

井手慎司, 今井章雄, 田中佐代子(2006)湖沼における有機物汚濁指標の歴史的背景と問題点. 用水と廃水488(3):235-245.

米沢高明, 井手慎司(2006)滋賀県内における自然を活用した環境学習と学校ビオトープ整備の実態について. 環境システム研究論文集34:117-122.

二村昌輝, 井手慎司(2006)野洲川流域における森林および河川ボランティア団体メンバーの流域環境保全意識の違いについて. 環境システム研究論文集34:89-96.

木村道徳, 井手慎司(2006)インターネット上のPRTR情報ネットワーク構造の把握に関する研究 - ネットワーク分析を用いた分析手法の提案 -. 環境システム研究論文集34:267-276.

松尾さかえ, 井手慎司(2006)小中の湖の干拓前の状況と機能, 維持管理手法に関する調査研究 弁天内湖を中心として. 環境システム研究論文集34:75-82.

吉田徹, 石本貴之, 井手慎司(2006)水質汚濁負荷量の汚濁負荷原単位の算定と減少要因の特定に関する研究 滋賀県の産業系汚濁負荷を対象として. 第18回環境システム計測制御(EICA)研究発表会34(2/3):227-234.

木村道徳, 井手慎司(2006)環境活動のためのソーシャルキャピタルの形成を目指したソーシャルネットワーク構築Webサイトに関する研究 - びわこ市民研究所を事例として. 環境情報科学論文集20:403-408.

福江岬, 井手慎司(2006)環境リスク削減に対する支払意思額(WTP)に関する研究 - WTP比を用いた政策決定ツールの提案 -. 環境システム研究論文発表会講演集34:91-98.

石本貴之, 井手慎司(2006)琵琶湖集水域における下水道終末処理場のマテリアルフロー解析. 環境システム研究論文発表会講演集34:223-229.

山内昌和, 除本理史, 香川雄一(2006)埋立と漁業世帯の経済状態 戦後の川崎市のノリ養殖業を事例に. 漁業経済研究50-3:53-73.

金谷健, 宮腰裕章(2006)企業における環境報告書等の公表媒体選択の実態と理由, 公表内容の推移, 環境システム研究論文集34:327-334.

近藤隆二郎, 仁賀崇之(2006)「舎廬夢ヒュッテ」におけるホスピタリティに関する研究 - エコセンターとしてのペンションの可能性 -, HOSPITALITY 第13号:39-50.

村上浩継, 近藤隆二郎(2006)環境基本計画策定後における市民参加型ワークショップに関する研究 - 旧野洲町「環境フェスタ」と彦根市「市民環境フォーラム」を対象として -, 環境システム研究論文集 Vol.34:9-19.

樋口幸永, 近藤隆二郎(2006)『婦人之友』誌におけるライフスタイル提案の変遷 「家庭生活の合理化」の100年, 環境システム研究論文集 Vol.34:353-363.

小田憲治, 近藤隆二郎(2006)市民による「色彩参画」と街並みの景観イメージとの関係に関する研究, 日本都市計画学会学術研究論文集41:511-516.

西村洋子, 近藤隆二郎(2006)墨田区「小さな博物館」における館長意識の継続性と世代交代に関する研究, 日本都市計画学会学術研究論文集41:653-658.

近藤隆二郎(2006)誰のための歴史・文化遺産なのか? - 歴史・文化のシナリオ・デザイン, 環境情報科学35-1, 41-48.

錦澤滋雄(2006)地域の環境共生に向けた社会的合意形成 - 対話の場の形成と運用 -. 計画行政:29(4):29-35.

林玲子, 原科幸彦, 錦澤滋雄(2006)ステークホルダー会議への分科会導入による議論ダイナミクスの分析 - 屋久島将来計画を議題とした社会実験での議論 -. 環境情報科学論文集:20:165-170.

鶴飼修(大成建設)(2006)CO2ポイント制度を活用した既存共同住宅団地再生の可能性, アーバンインフラ・テクノロジー推進協議会第18回技術研究発表論文集CD.

4. 報告書、その他著作、一般向け記事

1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書

仁連孝昭, 金谷健, 井手慎司, 高橋卓也, 小幡範雄, 若井郁次郎, 志賀文昭, 前川昭, 米田稔, 小松直樹, 市木繁和, 吉田徹, 林周(2006)滋賀県の産業とマテリアル・フロー, 滋賀県地域結集型共同研究事業「シーケンシャル・ユース評価手法の開発」研究グループ中間報告書, 1-80, 2006年11月.

錦澤滋雄(2006)平成17年度ものづくり交流支援事業 ひこね元気のタネ発見ワークショップ報告書(環境編). 彦根商工会議所:31-45.

鶴飼修(タイセイ総研)(2006)新たなセルフデマンドコミュニティを創造するコミュニティビジネ

スモデルの構築，諏訪商工会議所・諏訪TMO（平成17年度中小企業庁補助事業「中小商業ビジネスモデル連携支援事業」）。

鵜飼修（タイセイ総研）（2006）新たなセルフデマンドコミュニティを創造するコミュニティビジネスモデルの構築，平成17年度中小商業ビジネスモデル連携支援事業報告書，11-12。

2) 受託研究等の報告書

井手慎司（2006）（財）国際湖沼環境委員会 平成17年度環境省請負業務報告書，湖沼管理における住民と地方自治体とのパートナーシップの促進に関する調査。

近藤隆二郎（2006）高野町における「シナリオ」と「場」，歴史街道モデル事業評価検討報告書，歴史街道推進協議会，2006年3月。

3) 新聞、一般向け雑誌等への解説記事など

井手慎司（2006）「特集：琵琶湖総合保全に果たす流域協議会の役割～流域協議会の特徴と可能性について～」，環境科学部年報第10号，2006年3月。

香川雄一（2006）（書評）Judy Allen（2001）The Blue Death，Hodder Children's Books，London，地理科学61-1：50-52。

香川雄一（2006）（書評）中谷友樹・谷村 晋・二瓶直子・堀越洋一編著（2004）保健医療のためのGIS，古今書院，東京，地理学評論79-10：542-543。

香川雄一（2006）（翻訳）幕末から明治にかけての川崎地域における地方指導者（Neil L. Waters（1981）Local Leadership in the Kawasaki Region From Bakumatsu to Meiji，The Journal of Japanese Studies 7-1：53-83），京浜歴史研究年報18：37-57。

金谷健（2006）心を育てるリサイクル，Nocco：監修2-9，執筆6-7，2006年11月号。

近藤隆二郎（2006）自転車生活。毎日新聞文化面「風の響き」，2006年1月20日。

近藤隆二郎（2006）身体的参加と五感，毎日新聞文化面「風の響き」，2006年2月17日。

近藤隆二郎（2006）想像力，毎日新聞文化面「風の響き」，2006年3月18日。

近藤隆二郎（2006）野洲エコツアーを是非！，環境を考える会広報紙「すいんきんぐ」No.15，2006年3月30日。

錦澤滋雄（2006）「私の環境学：和製合意形成手法

の構築を目指して」，環境科学部年報第10号，2006年3月。

5. 学会等への発表

香川雄一，財城真寿美，小口 高，小池司朗，山内昌和，江崎雄治（2006）東京大都市圏における駅の乗降客数の分布に関する分析，日本地理学会2006年春季学術大会，さいたま市。

香川雄一，財城真寿美，小口 高，小池司朗，山内昌和，江崎雄治（2006）京阪神大都市圏における駅の乗降者数の分布に関する分析，日本地理学会2006年秋季学術大会，浜松市。

York Ostermeyer and Takaaki Niren（2006）Passive house in Japan, 10th Conference of Passive Houses, Hannover, 19 May 2006.

仁連孝昭（2006）流域システムの価値と流域ガバナンス，流域政策研究フォーラム設立総会及び講演会，流域政策研究フォーラム，草津市，2006年9月24日。

錦澤滋雄（2006）計画づくりにおけるフォーラムの役割。日本計画行政学会シンポジウム講演。2006年4月1日，中央大学駿河台記念館。

6. 研究会等、講演会、特別講義での発表

1) 研究会等における発表

秋山道雄（2006）河川と湖沼の持続可能な流域ガバナンスについて，滋賀大学環境総合研究センター2005年度公開研究会，草津市立市民交流プラザ，2006年3月25日。

秋山道雄（2006）国土総合開発法から国土形成計画法への転換をめぐって，地域政策研究会，ピアザ淡海，2006年3月31日。

秋山道雄（2006）琵琶湖沿岸域における自然修復・再生の課題 沿岸域管理の視点からー，琵琶湖ラムサール研究会，滋賀県立大学，2006年7月17日。

秋山道雄（2006）地域問題と環境計画，地域政策研究会，シーパル須磨，2006年8月22日。

秋山道雄（2006）琵琶湖集水域の水環境と住民の環境保全活動，第1回環境用水研究会，ひと・まち交流館（京都市），2006年9月9日。

秋山道雄（2006）転換期の地域政策，都市政策研究会，ひょうご震災記念21世紀研究機構，2006年9月28日。

秋山道雄（2006）イギリスとドイツの地域構造と地

- 域政策，都市政策研究会，ひょうご震災記念21世紀研究機構，2006年11月27日。
- 秋山道雄（2006）地域政策と環境政策の接点について，地域政策研究会，ライズヴィルつがやま，2006年12月29日。
- 仁連孝昭（2006）琵琶湖生態系へのヒューマンインパクト，ヒューマンインパクトセミナー，総合地球環境学研究所，京都市，2006年7月14日。
- 林周，仁連孝昭（2006）マテリアル・フローから見た産業政策の課題，滋賀県地域結集型共同研究事業平成18年度研究発表会，滋賀県・(財)滋賀県産業支援プラザ・(独)科学技術振興機構，2006年9月14日。
- 仁連孝昭（2006）コメンテーター，国際ワークショップ「琵琶湖の流域管理から始める地球環境学」，総合地球環境学研究所プロジェクト3-1，京都市，2006年9月23日。
- 仁連孝昭（2006）経済と環境を結びつけた滋賀県産業分析，持続可能な社会をめざす滋賀の産業 - その現状と政策課題 - (「シーケンシャル・ユース評価手法」研究グループ中間成果報告会)，財団法人滋賀県産業支援プラザ地域結集型共同研究事業プロジェクト推進室，大津市，2006年11月10日。
- 鶴飼修（大成建設）(2006) CO2ポイント制度を活用した既存共同住宅団地再生の可能性，アーバンインフラ・テクノロジー推進協議会第18回技術研究発表会，2006年11月9日。
- 2) 講演会
- 秋山道雄（2006）琵琶湖と集水域の現状と課題，豊田地理学会巡検現地解説，滋賀県立大学，2006年8月11日。
- 秋山道雄（2006）環境地理，NPO環境技術支援センター2006年環境技術指導者養成講座，大阪産業大学梅田サテライト，2006年11月18日。
- 井手慎司（2006）Lake Biwa--Environmental Education and Community Initiatives，Lake Balaton Partnership Programme--Connecting Partners in Tourism and Environmental Protection for Sustainable Lakes，Lake Balaton Development Coordination Agency，Balatonfured，Hungary，2006年9月13日。
- 金谷健（2006）資源循環型社会の構築について - 自治体の事業系ごみ対策 - ，滋賀県廃棄物適正管理協議会合同部会，滋賀県廃棄物適正管理協議会，大津市，2006年12月18日。
- 近藤隆二郎（2006）実践者／専門家 市民調査の可能性と課題，環境社会学会第34回セミナー，パネラー，2006年12月9日(立教大学)。
- 近藤隆二郎（2006）先進自治体の取り組みと将来シナリオ，彦根市議会議員研修会講師，2006年3月27日（彦根市役所）。
- 近藤隆二郎（2006）わがまちの「ものがたり」に参画していく方法，愛荘町百人委員会発足記念講演会，2006年6月24日（愛荘町）。
- 近藤隆二郎（2006）おうみ市民活動フォーラム『新しい公益を考えるマルチパートナーシップの時代』，パネラー，淡海ネットワークセンター，2006年11月7日（ピアザ淡海）。
- 近藤隆二郎（2006）わがまちの「ものがたり」に参画していく方法，愛荘町百人委員会発足会講演，2006年6月24日（愛荘町公民館）。
- 近藤隆二郎（2006）わがまちの再発見とものがたりづくり，第8回近江歴史回廊大学，2006年11月18日（滋賀会館）。
- 近藤隆二郎（2006）：グループ討議「歴史を活かしたまちづくりのヒント」，ファシリテーター，第8回近江歴史回廊大学近江戦国の道・実践クラス，2006年6月3日（大津勤労福祉センター）。
- 仁連孝昭（2006）滋賀県におけるエコ村プロジェクト，日独シンポジウム「持続可能なコミュニティとエコ建築」，NPO法人エコ村ネットワーク，大津市，2006年2月13日。
- 仁連孝昭（2006）エコ村の自前エネルギー計画，エコ村がめざす脱温暖化社会，小舟木エコ村推進協議会，近江八幡市，2006年3月25日。
- 仁連孝昭（2006）環境と経済の好循環に向けて，滋賀県化学職員同友会総会，大津市，2006年6月30日。
- 仁連孝昭（2006）環境分野における新たな政策手法の導入 - 小流域の視点から - ，シリーズ「びわこ環境セミナー」，滋賀県琵琶湖環境部，大津市，2006年8月23日。
- 仁連孝昭，村上修一（2006）長浜米原まんなかまちづくり，コンパクト・コミュニティをめざして，長浜米原まんなか夢のまちづくり会議，長浜市，2006年9月20日。
- 仁連孝昭（2006）環境に負荷を与えない社会・経済の構築に向けて，持続可能な滋賀社会づくりフォーラム，滋賀県琵琶湖環境部，米原市，2006年10月25日。
- 仁連孝昭（2006）環境情報，環境技術指導者養成講座，NPO環境技術支援センター，大阪産業大学梅田サテライト，2006年11月18日。
- 仁連孝昭（2006）暮らしを包むまちづくり，長浜米

原まんなかまちづくりシンポジウム，長浜米原まんなか夢のまちづくり会議，長浜市，2006年12月2日。

仁連孝昭（2006）今なぜLOHASか（小舟木エコ村開発計画），海外デザインマネジメント研究会第1回研究会，国際デザイン交流協会，大阪市，2006年12月6日。

錦澤滋雄（2006）協働による持続可能社会の構築．彦根市民環境スクール講演，2006年1月14日，ひこね燦ぱれす。

錦澤滋雄（2006）市民意向の聴取と社会的合意形成，淀川水系流域委員会・意見聴取反映WG作業検討会講演，2006年8月24日，京都ぱるるプラザ。

鶴飼修（2006）「コミュニティ・ビジネス」起業のポイント，荒川区コミュニティ・ビジネス起業講座，2006年11月17日，11月24日。

3) 授業

近藤隆二郎（2006）インドと日本，若葉小学校特別講演会，講師，2006年3月6日（彦根市立若葉小学校）。

近藤隆二郎（2006）滋賀県立環境科学部ってこんなにおもしろい，講師，2006年12月7日（滋賀県立彦根翔陽高校）。

仁連孝昭（2006）Taking into account of stakeholder interests and restoration of resource values，JICA研修，総合的湖沼環境管理コース，草津市，2006年2月3日。

仁連孝昭（2006）持続可能な社会・経済システムをエコ村から展望する，理工学部特別講義，龍谷大学理工学部，2006年11月29日。

7. 競争的研究資金の導入

1) 科学研究費補助金

秋山道雄（研究代表者）他7名．地域再生に寄与する新たな地域政策の可能性に関する研究，基盤研究（B）（2），2005～2006年度，310万円。

浜谷正人・大西宏治・香川雄一．都市近郊農村における社会的・政治的ポリティクス，萌芽研究，平成18～19年度，280万円。

原科幸彦，錦澤滋雄，松本安生．戦略的環境アセスメントにおける評価手法に関する研究．基盤研究（B）（2），研究分担者，2004～2006年度，H18:470万円。

原科幸彦，坂野達郎，錦澤滋雄．戦略的環境アセス

メントにおける参加制度と手法の国際比較．基盤研究（A）（海外学術調査），研究分担者，2006～2008年度，H18:780万円。

籠義樹，原科幸彦，村山武彦，錦澤滋雄ほか10名．環境計画・政策研究の展開．研究成果公開促進費，執筆分担者，2006年度，H18:100万円。

2) 政府および地方公共団体（関連法人を含む）からの補助金

仁連孝昭，金谷健，井手慎司，高橋卓也，小幡範雄，若井郁次郎，吉田徹，林周．環境調和型産業システム構築のための基盤技術の開発（研究3 - シ - ケンシャル・ユ - スの評価手法の開発），滋賀県地域結集型共同研究事業（（独）科学技術振興機構），2003年1月～2007年12月，1754.1万円。

8. 研究員の受入

吉田徹，林周，仁連孝昭．（財）滋賀県産業支援プラザ・地域結集型共同研究事業プロジェクト推進室・主任研究員，産業廃棄物を含む産業連関表の構築，2007年12月まで。

York Ostermeyer，仁連孝昭．客員研究員，エネルギー効率性とパッシブ・ソーラー，2006年9月まで。

9. 社会への貢献

1) 各種委員会等

秋山道雄（2006）彦根市公共交通機関検討委員会委員，彦根市，2回。

秋山道雄（2006）ひょうご震災記念21世紀研究機構上級研究員，3回。

井手慎司（2006）世界湖沼ビジョン行動集作業部会委員，（財）国際湖沼環境委員会，1回。

井手慎司（2006）琵琶湖・淀川流域圏再生有識者委員会委員，国土交通省近畿地方整備局，1回。

井手慎司（2006）赤野井湾流域流出対策推進会議会長，滋賀県環境管理課，55回。

井手慎司（2006）滋賀県国民保護協議会委員，滋賀県総合防災課，2回。

井手慎司（2006）滋賀県施策・事業仕分け会議委員，滋賀県行政経営改革室，9回。

井手慎司（2006）大津市環境審議会（+専門委員会）委員，大津市，5回。

井手慎司（2006）近江八幡市環境審議会 会長，近

- 江八幡市，2回。
- 井手慎司（2006）愛荘町環境基本計画審議会 会長，愛荘町生活課，2回。
- 井手慎司（2006）おうみNPO活動基金運営委員会 委員長，淡海文化振興財団，3回。
- 井手慎司（2006）琵琶湖流域ネットワーク委員会 運営委員長，滋賀県水政課，5回。
- 井手慎司（2006）滋賀県エコ・スクール評価委員会 委員長，滋賀県エコライフ推進課，1回。
- 井手慎司（2006）インド湖沼会議国内調整会議 委員，(財)国際湖沼環境委員会，1回。
- 香川雄一（2006）総合地球環境学研究所 共同研究員，3回。
- 香川雄一（2006）国立歴史民俗博物館 共同研究員，4回。
- 香川雄一（2006）東京大学空間情報科学研究センター 客員研究員，2回。
- 金谷健（2006）滋賀県不法投棄防止対策検討委員会 委員長代理，滋賀県，2回。
- 金谷健（2006）廃棄物の資源化仲人事業検討会 委員，滋賀県，1回。
- 金谷健（2006）廃棄物の地域内循環システム構築事業検討委員会 委員長，滋賀県湖東地域振興局，1回。
- 金谷健（2006）「クリーンセンター淡海」環境監視委員会委員長，滋賀県環境事業公社，3回。
- 金谷健（2006）企業間連携によるゼロエミッションの推進に関する調査検討委員会 委員，滋賀県産業支援プラザ，2回。
- 金谷健（2006）彦根市総合発展計画審議会 委員，彦根市，1回。
- 金谷健（2006）彦根市総合発展計画審議会 調整会議，委員，彦根市，1回。
- 金谷健（2006）彦根市総合発展計画審議会 環境・安全部会 部会長，彦根市，1回。
- 金谷健（2006）ごみゼロプラン推進委員会 委員，三重県，4回。
- 金谷健（2006）産業廃棄物処理施設変更許可申請に関する共同調査会議 専門委員，三重県，1回。
- 金谷健（2006）土壌汚染対策専門委員，三重県，1回。
- 金谷健（2006）不法投棄等の是正推進事業補助金交付認定審査会 委員，三重県，1回。
- 金谷健（2006）草津市廃棄物減量等推進審議会 委員，草津市，4回。
- 金谷健（2006）敦賀市リサイクル推進対策検討委員会 委員，敦賀市，1回。
- 金谷健（2006）敦賀市リサイクル推進対策検討委員会 資源ごみ部会 部会長，敦賀市，3回。
- 金谷健（2006）八幡市環境審議会 委員，八幡市，2回。
- 近藤隆二郎（2006）旧街道を活用した道路整備に関する勉強会，座長，国土交通省滋賀国道事務所，2回。
- 近藤隆二郎（2006）NPO法人五環生活，代表理事 35回。
- 近藤隆二郎（2006）NPO法人環境を考える会，理事 1回。
- 近藤隆二郎（2006）NPO法人+arts(プラスアーツ)，理事 1回。
- 近藤隆二郎（2006）歴史街道評価ワーキング，委員，歴史街道推進協議会，3回。
- 近藤隆二郎（2006）シーニック・バイウェイ琵琶湖・中山道検討会，委員，歴史街道推進協議会，2回。
- 近藤隆二郎（2006）近江中山道を楽しむ会，代表，5回。
- 近藤隆二郎（2006）湖東地域交通安全ワークショップ，アドバイザー，滋賀県湖東地域振興局，3回。
- 近藤隆二郎（2006）琵琶湖塾，企画員/アドバイザー，滋賀総合研究所，11回。
- 近藤隆二郎（2006）ひこね自転車生活を考える会，代表 運営委員，15回。
- 近藤隆二郎（2006）滋賀県顔出し看板発掘再生新規開発委員会，委員，5回。
- 近藤隆二郎（2006）(財)淡海文化振興財団，理事，(財)淡海文化振興財団，1回。
- 近藤隆二郎（2006）滋賀県地球温暖化防止活動推進センター運営委員会，委員長，(財)淡海環境保全財団，1回。
- 近藤隆二郎（2006）彦根市環境パートナー委員会，委員長，彦根市生活環境課，4回。
- 近藤隆二郎（2006）野洲市環境審議会，委員，野洲市環境経済部環境課，2回。
- 近藤隆二郎（2006）彦根市環境団体ネットワーク(仮称)企画委員，彦根市生活環境課/彦根市環境市民会議，4回。
- 近藤隆二郎（2006）和歌山市まちなか街道案内サービス研究協議会，アドバイザー，和歌山市まちおこし推進課，5回。
- 仁連孝昭（2006）滋賀県基本構想審議会委員，1回。
- 仁連孝昭（2006）滋賀県環境審議会専門委員，2回。
- 仁連孝昭（2006）滋賀県持続可能な社会づくり構想検討委員会 委員，2回。
- 仁連孝昭（2006）滋賀県琵琶湖水環境ビジョン検討委員会 委員，2回。

仁連孝昭 (2006) 京都市環境審議会 委員, 5 回。
仁連孝昭 (2006) 地下水検討専門委員会 委員, 愛知郡広域行政組合・東近江市, 3 回。
仁連孝昭 (2006) 彦根市工場設置奨励審査会 委員, 1 回。
仁連孝昭 (2006) 米原市環境審議会 委員, 3 回。
仁連孝昭 (2006) 長浜市地域経営改革会議委員, 6 回。
仁連孝昭 (2006) 滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター評議員会委員 (外部評価委員会委員長), 2 回。
仁連孝昭 (2006) 環境フォーラム湖東 代表, 4 回。
仁連孝昭 (2006) 滋賀県地域結集型共同研究事業共同研究推進委員会委員, 2 回。
仁連孝昭 (2006) 企業間連携によるゼロエミッション化の推進に関する調査検討委員会 委員, 4 回。
仁連孝昭 (2006) NPO法人エコ村ネットワーク 理事長, 12 回。
仁連孝昭 (2006) 小舟木エコ村推進協議会 会長, 2 回。
仁連孝昭 (2006) 関西エコステージ研究会第3者評価委員会 委員, 4 回。
土屋正春 (2006) 彦根市環境審議会 委員長, 1 回。
土屋正春 (2006) 京エコロジーセンター 部会コーディネーター, 1 回。
土屋正春 (2006) グリーン購入ネットワーク 理事, 1 回。
土屋正春 (2006) 滋賀県産業廃棄物不法投棄対策委員会 委員長, 1 回。
土屋正春 (2006) 大阪府職員研究研修センター 部会コーディネーター, 1 回。
鵜飼修 (2006) NPO法人大森まちづくりカフェ 代表理事, 4 回。
鵜飼修 (2006) NPO法人大森コラボレーション 理事, 理事会 3 回。
鵜飼修 (2006) CBNコミュニティ・ビジネス・ネットワーク 事務局長, 4 回。
鵜飼修 (2006) NPO法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ 副理事長, 4 回。

2) 学会貢献

秋山道雄 (2006) 日本地理学会代議員会代議員, 2 回。
秋山道雄 (2006) 人文地理学会評議員会評議員, 3 回。
秋山道雄 (2006) 人文地理学会公開セミナー企画委員会委員長, 3 回。

秋山道雄 (2006) 経済地理学会評議員会評議員, 1 回。
秋山道雄 (2006) 水文・水資源学会編集出版委員会編集出版委員, 2 回。
秋山道雄 (2006) 地域地理科学会関西支部副部長, 1 回。
秋山道雄 (2006) 歴史地理学会第49回大会実行委員会委員, 3 回。
井手慎司 (2006) 環境システム計測制御学会, 編集委員長, 12 回。
香川雄一 (2006) 人文地理学会選挙管理委員会委員, 4 回。
香川雄一 (2006) 人文地理学会編集委員会委員, 3 回。
近藤隆二郎 (2006) 土木学会環境システム委員会, 委員兼幹事 1 回。
仁連孝昭 (2006) 水資源・環境学会 事務局長, 6 回。
仁連孝昭 (2006) 環境技術学会 編集委員, 1 回。
仁連孝昭 (2006) 流域政策フォーラム 代表, 3 回。

3) 国際貢献

井手慎司 (2006) Conservation and Citizen activities for Environment, JICA湖沼環境保全のための統合的湖沼流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2006年2月8日。
井手慎司 (2006) Fundamental Knowledge of Water Quality, Data Processing, JICA湖沼環境保全のための統合的湖沼流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2006年3月2日。
井手慎司 (2006) Lake Modeling, JICA湖沼環境保全のための統合的湖沼流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2006年3月3日。
井手慎司 (2006) Final Report Presentation & Synthesis Discussion, JICA湖沼環境保全のための統合的湖沼流域管理コース, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2006年3月10日。
井手慎司 (2006) 環境問題基礎 (琵琶湖の水管理), JICA水環境を主題とする環境教育研修, (財)国際湖沼環境委員会, (財)国際湖沼環境委員会, 2006年9月8日。

4) その他

- 近藤隆二郎 (2006) 平成18年度第2回[現代GP]地域と大学を考えるシンポジウム/パネルトーク, コーディネーター, 2006年2月23日(滋賀県立大学交流センター).
- 近藤隆二郎 (2006) 平成18年度第3回[現代GP]地域と大学を考えるワークショップ/ファシリテーター, 2006年3月23日(滋賀県立大学環境科学部談話室1).
- 近藤隆二郎 (2006) 木匠塾シンポジウム/パネラー, 2006年2月17日(滋賀県立大学).
- 近藤隆二郎 (2006) 第2回シガリントク!(滋賀に輪タクを走らせるプロジェクト), コーディネーター, 2006年2月26日(彦根市民会館).
- 近藤隆二郎 (2006) 中山道宿場会議, コーディネーター, 2006年3月25日(愛知川公民館).
- 近藤隆二郎 (2006) 「私たちが考える彦根城築城400年祭!」作品展 - 滋賀県立大学生による企画提案事例作品展, コーディネーター, 2006年2月20日~27日(滋賀中央信用金庫銀座支店2階ギャラリー)+2006年3月6日~9日(彦根市役所1階ロビー).
- 近藤隆二郎 (2006) グループ討議/ファシリテーター, 第7回近江歴史回廊大学, 2006年6月3日(大津市勤労福祉会館).
- 近藤隆二郎 (2006) イベント演習in「フリーマーケットコミュニティ2006」, コーディネーター, 2006年7月15日(滋賀県立文化産業会館).
- 近藤隆二郎 (2006) 彦根市庁内環境フォーラムワークショップ「エコシティ彦根のものがたりづくり」, ファシリテーター, 彦根市生活環境課, 2006年11月10日(彦根市役所).
- 錦澤滋雄 (2006) ひこね元気の「タネ」発見ワークショップ, コーディネーター, 2006年2月24日、3月10日, 彦根商工会議所.
- 鵜飼修 (2006) 都市再生モデル調査 弥彦村景観デザインガイドライン策定ワークショップ, ファシリテーター, 2006年11月15日, 11月26日.
- 鵜飼修 (2006) エコテクノ2006パネルディスカッション「九州の環境ビジネスとNPOの協働の可能性」, コーディネーター, 2006年11月23日.
- 鵜飼修 (2006) ふれあいパークいろは塾ワークショップ, ファシリテーター, 大田区協働実験塾, 2006年12月2日.

10. マスメディアとの対応

1) 新聞、雑誌等からの取材による記事

- 井手慎司 (2006) 琵琶湖からのメッセージ「CODが増加傾向」. 京都新聞滋賀版, 2006年10月30日.
- 近藤隆二郎 (2006) 自転車タクシー走れ彦根城下, 京都新聞, 2006年1月17日.
- 仁連孝昭 (2006) 人と人を結び、人と環境をつなぎ、生命に共感する「小舟木エコ村」, 博報堂 エコソス03 (P18), 2006年8月20日.
- 仁連孝昭 (2006) 持続可能な社会を実証する日本発のエコ村がこの秋着工, 月刊環境ビジネス (P60), 2006年10月1日.
- 仁連孝昭 (2006) 「持続可能なコミュニティ、琵琶湖畔『エコ村』から考える」, 関西電力メールマガジン『時代を解くキーワード・Insight』, 2006年11月15日.

2) TV、ラジオ番組への出演等

- 仁連孝昭 (2006) WATER FOREST 21, 森谷威夫のお世話になります, KBS京都ラジオ, 2006年12月20日.
- 仁連孝昭 (2006) 土清水縁の日曜音楽館, MBSラジオ, 2006年12月31日.